

南部営農だより 9月の防除

南部総合経済センター 電話：237-5580 Fax：237-5155
 長田営農出張所 電話：259-3233 Fax：258-2867

決算に伴う購買業務の
営業時間変更のお知らせ

上期決算のため、
 下記の通り営業時間変更となります。
 令和8年9月30日(水)～12:00 閉店
 ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

JAブロック好評発売中

夏用商品 販売中



熱中症対策水 日向夏
 500ml × 24本 3,250円

国産ジュース5種類セット
 80ml × 20本 2,400円



女性部お知らせ

- ・9/1 (火) ブロック合同終活セミナー (大谷支店)
- ・9/4 (金) ブロック合同健康講座 (長田支店)
- ・9/7 (月) 長田ブロック役員会 (長田支店)
- ・9/8 (火) 大谷地区役員会 (旧南部総合経済センター)
- ・9/10 (木) 県下助けあいグループ交流会 (農業会館)
- ・9/17 (木) ブロック合同終活セミナー (やすらぎホール長田)
- ・9/29 (火) 助けあいグループ視察 中伊豆リハビリテーション

高田農具展示販売会

- ・9/4 (金) 長田支店
- ・9/7 (月) 大谷支店
- ・9/24 (水) 南部総合経済センター

修理も受け
 ています!!

有害鳥獣伝言板

R8・7月	南部	長田
タヌキ	-	1頭
イノシシ	2頭	6頭
ハクビシン	4頭	3頭

南部長田ともにイノシシ被害が増えています。

地域の柵の見直しをしましょう
 電気柵、防護柵設置の補助金申請
 受付中です。

お気軽にお問い合わせください。

茶 (岩田)

茶樹の粉碎、抜根の申し込み受付しています

1. 病虫害防除

秋芽開葉期間	炭疽病・もち病 ウンカ・スリップス	※クミガード SC	500 倍	7 日前
		スタークル顆粒水和剤	2,000 倍	7 日前-2 回
9 月中旬	クワシロカイガラムシ	アプロードエースフロアブル	1,000 倍	14 日前-2 回

※クミガード SC は取り寄せになります。 事前連絡でご注文をお願いします。

代用する場合は、ドイツボルドーA 500 倍 (スタークル混用可) を使用してください。

長雨が懸念される場合は展着剤を使用してください。 アピオン-E (2,000 倍)

チャトゲ、サビホコリダニの発生が懸念される場合スタークルに加えて@ハチハチ乳剤を散布。

ハスモンヨトウの発生が見られる茶園では、アファーム乳剤を使用する。

先月に引き続きマダラカサハラハムシに注意しましょう。 ダントツ水溶剤を使用

@注意: 農薬購入の際は印鑑をご持参ください

水稻 (担当: 深井・石原・望月)

出穂後 20 日間の平均気温が 26.5℃を超えると
 白未熟粒の発生が増加するとされています

1. 水管理

- (1) 出穂前後 5～7 日間は湛水状態を保つようにしましょう。
- (2) 出穂期以降は間断かん水やかけ流しを行い、水温をあげないようにしましょう。(特に夜間)
- (3) 収穫 5 日前まで間断かん水を行う。早期落水は乳白粒・胴割米を招くので注意しましょう

2. 収穫

(1) 収穫適期の目安

早生	出穂期から 35～40 日	出穂後の気温により日数が前後する可能性があります ※出穂期…水田全体で 40～50%の穂が出た時期
中生	出穂期から 40～45 日	
晩生	出穂期から 45～50 日	

- (2) 穂の 90～95%の籾が黄化したら、刈り遅れないように収穫する。

(3) コンバイン収穫の注意点

- ① 朝露など、籾が濡れている場合は作業をしない。
- ② ムシによる変質を防止するため、刈取後 3～4 時間以内に乾燥機に張り込む。

3. 乾燥

- (1) 玄米水分 15%となるよう、はさがけでは 1 週間程度が目安。
- (2) 乾燥機では、急激な乾燥を避けるため、1 時間あたりの乾減率 0.8%以内とする。

※ 商品性の高い良質米に仕上げるため、乾燥機で「二段乾燥」する場合

- ① 水分 18%くらいまで低温で乾かす。
- ② 水分のバラツキを均一にするため、5～10 時間休止する。
- ③ 再び運転し、水分 15%で停止する。

野菜 粒剤の登録作物 (秋冬野菜) と対象病虫害 (担当: 石原・深井・望月)

適用病虫害、使用量、使用方法など各作物ごと異なりますので、農薬の登録内容をご確認下さい。

農薬名	RAC	適用病虫害 (一部抜粋)	キャベツ	ハクサイ	ブロッコリー	カリフラワー	ダイコン	カブ	ニンジン	タマネギ
スタークル粒剤	I: 4A	アムシ・キジミムシ・ハダニ I 類・コガ・アブラムシ・ハマダラカ	○	○	○	×	○	○	○	×
ダントツ粒剤	I: 4A	アブラムシ・アムシ・コガ・ハマダラカ	○	○	○	×	○	○	×	×
ダイアジノン粒剤5	I: 1B	アムシ・キジミムシ・ハダニ I 類・コガ・アブラムシ・ハマダラカ	○	○	○	○	○	○	○	○
ネキリエースK	I: 1B	ネキリムシ・コオロギ	○	○	○	×	○	○	○	×
ネマトリンエース粒剤	I: 1B	アブラムシ・アムシ・コガ・アブラムシ・ハマダラカ	○	×	○	○	○	×	○	×
ユニフォーム粒剤	F: 11 : 4	白さび病・しみ腐病・白絹病	○ ※	○ ※	○	×	○	○	○	×

※ キャベツ、ハクサイ…結球アブラナ科葉菜類での登録

(注) 作物に登録がある農薬でも、『間引き菜、つまみ菜に使用しない』等の注意事項があれば、その農薬を使用した間引き菜やつまみ菜などは収穫できません。農薬の注意書きを確認してください。

落葉果樹（ 担当： 森 ）

桃	9月中旬	カイガラムシ	アプロード水和剤	1,000 倍	14 日-3 回
	9月下旬	コスカシバ	モスピラン顆粒水和剤 [㊞]	2,000 倍	前日-3 回
柿	9月上旬	カメムシ類(発生時)	スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍	前日-3 回
		うどんこ病、炭そ病	ストロビードライフフロアブル	3,000 倍	14 日-3 回
イチジク	9月	さび病・疫病	アミスター10フロアブル	1,000 倍	前日-3 回
		黒かび病	園内清掃に努めるとともに、通風・採光を良好に保つ。		
キウイ	9月上旬	貯蔵病害(レインボ・レッド)	ストロビードライフフロアブル	2,000 倍	前日-3 回
	9月中旬	果実軟腐病(ヘイワード)	ベルコート水和剤	1,000 倍	前日-5 回
梨	9月上旬	黒星病	キノンドーフロアブル	1,000 倍	3 日-9 回

・施肥

ナシ・・・9月上旬 新FTES280 4袋/10a イチジク・・・9月上中旬 粒状固形小粒 30号 2袋/10a

柑橘・果樹共通

※カメムシの発生に注意！



病害虫防除所の調査で、今年はカメムシの餌になるスギ、ヒノキ球果が多く、カメムシの寄生も昨年より多いため、9月以降に果樹園への飛来の可能性が高いと予想しています。最初の数匹の防除が重要なので、こまめに園内を見回り、今後の発生に十分注意してください！

※獣害にも注意！



収穫物が増えてくる9月は、イノシシ、ハクビシン等が活発に動くようになります。特に果樹は大好物で、収穫に近いものを狙って入ってきます。被害にあう前にできる対策をしましょう！

かんきつ（ 担当： 新出 ）

青島温州・スルガエレガントと中晩柑

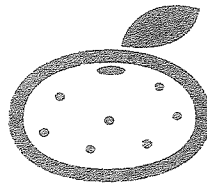
9月 中下旬	チャハバザミ [㊞]	ロディー乳剤 [㊞]	2,000 倍	7 日-4 回	混用可
	ミカンハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000 倍	前日-1 回	
	黒点病	ペンコゼブ水和剤 ※	600 倍	30 日-4 回(青島温州) 90 日-4 回(スルガ中晩柑)	

※ 年内に収穫する中晩柑と同時防除する場合はペンコゼブ水和剤に代わり、オキシンドー水和剤 80（1,000 倍 30 日-3 回）を使用する。

- ・台風の襲来が予想される場合には、その直前にクプロシールド 2,000 倍の散布を行う。
- ・夏秋枝は、かいう病の発生源となるので積極的に除去する（慣行栽培）。
- ・褐色腐敗病の発生が予想される園地では樹の下半分にランマンフロアブル（2,000 倍 前日-3 回）を散布する。
- ・マイマイが発生した場合は、アグリメック[㊞]（2,000 倍 7 日-3 日）を散布する。

高品質化作業

- ・病害虫果、風ズレ果の除去と内なり果、裾なり果の補正摘果。
- ・スソ枝の枝吊りや添え木を行い品質の向上に努める。



㊞の表示のある農薬は、購入時に印鑑が必要になります

苺（山森）

《育苗》 育苗期間も残りわずか、病害虫の防除と花芽促進に向けた管理を

1、 切り離しからの管理

- ① 育苗中の肥切れは芯止まりにつながります。メルク試験紙を用いて確認しましょう。
- ② 8月30日以降の1B化成の施用は控えて下さい。（9/中～ 50ppm～100ppm）
- ③ 2～2.5 枚になる様に適宜葉かきを実施。ポットから抜き根が傷んでいないか確認する。
- ④ 最終の葉かきは定植の10日前を目安に行い、定植時は4～5 枚となるようにする。

2、 炭そ病防除ローテーション（先月号の続き）

「本圃への病害虫の持ち込みがないように定植前はとくに入念な防除を行いましょう。」

時 期		薬 剤	RAC	倍率	主な対象病害虫
9 月	第 1 週 (30 日～5 日)	ベルコート（水）	M7	1,000	炭疽、うどんこ
		コロマイト（水）	6	2,000	ハダニ
	第 2 週 (6 日～12 日)	オーソサイド（水）	M4	800	炭疽、うどんこ
		エコピタ（液）	未	100	うどんこ、ハダニ、ア ブラムシ
	第 3 週 (13 日～19 日)	アントラコール（顆水）	M3	500	炭疽
		プレオ（フ）	UN	1,000	ヨトウ
	第 4 週 (20 日～26 日)	キノンドー（フ）	M1	500～800	炭疽
		マイトコーネ（フ）	20D	1,000	ハダニ
定植直前 コガネムシ防除	ベリマークSC	28	1,000 倍 ※灌注 25～50ml / 株	ヨトウ、アブラムシ、 アザミウマ、コガネム シ	
10 月	第 1 週 (27 日～3 日)	オーソサイド（水）	M4	800	炭疽
		マッチ（乳）	15	1,000～2,000	ヨトウ、アザミウマ

②この時に期注意したい農薬

「収穫前の日にちが長いもの」

ジマンダイセン水和剤	収穫 76 日前	トクチオン乳剤	収穫 75 日前
------------	----------	---------	----------

「天敵及び交配昆虫への影響日数が長いもの」

薬 剤	RAC	天敵（ミヤコ・チリ）	蜜蜂	マルハナバチ
グレーシア乳剤	30	100 日以上	1 日	1 日
コルト顆粒水和剤	9B	14 日	28 日	7 日
スミチオン乳剤	1B	60 日以上	10 日	20 日以上
アーデント水和剤	3A	60 日以上	3 日	3 日

《本圃》 定植に向けて準備を始めて下さい

1、 定植時の確認事項

- ① 必ず花芽分化を確認してから定植してください。
- ② 定植後 2 週間は葉かきしないこと（病害虫の発生が酷い場合は適宜除去）
- ③ 高設の場合、定植 1 週間前からEC0.4 程度で給液を開始する。
- ④ 定植後最低でも 10 日間は株元に手灌水を行い、新しい根を出させる。

2、 検鏡日程 ①9/16（水）サンプリング → 9/17（木）検鏡

②9/24（木）サンプリング → 9/25（金）検鏡

